

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	あま市	代表者名	村上浩司
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	市長公室情報推進課
担当者役職	主幹	担当者氏名	原野直樹
住所	497-8602 愛知県あま市七宝町沖之島深坪1番地		

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	情報セキュリティ
概要	個人情報や業務における機密情報などを扱う公務員においては、情報セキュリティの遵守が強く求められています。あま市情報セキュリティポリシーにおいて情報セキュリティ管理者に位置付けられている各課長を対象とした情報セキュリティの研修において講師を依頼したいです。		
支援を求める分野	自治体セキュリティ		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年2月3日	フォローアップ(実地)	10時00分	11時20分	
				活動時間(分)	80
2-2. 派遣場所	会場名	あま市役所	最寄駅	名鉄七宝駅	
	所在地	愛知県あま市七宝町沖之島深坪1番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	遠藤 守
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	7月に管理職を対象としたセキュリティ研修を実施したが、加えて12月19日に入庁3年目までの職員を対象として、情報セキュリティ並びにデジタル技術の活用の研修をアドバイザー制度とは別に実施した。その研修では遠藤アドバイザー監修のもと、名古屋大学の学生が講師となり、対象職員に情報セキュリティの重要性と身近に潜むリスクについて考えていただくとともに、本市で導入している生成AIをはじめとしたデジタルツールを紹介し、それらの具体的な活用方法を学んでいただいた。学生を含む名古屋大学並びにあま市において、大変有意義な研修となったため。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	5人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	0	0
	住民	0	0
	人数	5	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	職員の中には情報セキュリティに対する意識レベルや知識に大きな差があると感じている。また、セキュリティ対策と業務効率のバランスをどう取るかも大きな課題と感じており、理論と実践のギャップを埋める具体的な方策が必要と考えている。今回の研修では、入庁1年目から3年目の職員のうち9割以上の方に、セキュリティ意識が向上したと感じてもらった。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	あま市の組織全体におけるセキュリティ意識を向上し、より安全で効率的な行政運営が実現を図る必要がある。入庁して経験が浅い職員の中にはセキュリティに対する意識が希薄な方もいるため、セキュリティリスクについて理解してもらう必要がある。また、今後起こりうる人口減少に伴う職員数の削減に対応するため、あま市で導入している情報ツールを活用してもらい、業務の効率化を図る必要がある。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	12月の研修では、研修受講者に情報セキュリティと個人情報保護に関する知識を学んでもらった後、身近にある情報セキュリティのリスクについて考えてもらった。また、情報ツールの活用では、具体的に生成AIを使用して、その利便性を感じてもらった。 また、情報セキュリティ並びに情報活用を広く職員に研修するために、情報担当者のみではなく職員研修担当などの他部署が共同して実施することにより、各部署の専門知識を活かし、充実した研修プログラムを作成できるため、研修の質を高めることが可能となる旨のアドバイスを受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	これまで、情報セキュリティの研修は、e-ラーニングによる動画研修に留まっていたが、対面講義を行ったことにより、セキュリティに対する理解をより深めることができた。情報ツールの活用では、知らないツールを紹介することで、業務の効率化を図る一助となった。 また、個人情報等の担当課である総務課並びに情報推進課職員にアドバイスしていただいたことにより、個人情報等の取扱いに関する内部監査を職員間で実施するなど、スキルアップを図ることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
	研修受講者のアンケートでは、情報セキュリティ及び情報ツールの活用のいずれにおいても9割を超える方に満足してもらえた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	情報セキュリティ及び情報ツールの活用のいずれにおいて、課長級並びに入庁3年目までの職員に対して研修を開催できたが、研修受講者数が対象職員の1.5割程度に相当するため、残りの職員に対しても周知し、職員全体に浸透させる必要がある。 また、情報施策等において他市町村の進捗状況を把握できていないなど、自治体の横のつながりが希薄であるため、近隣市町村に声をかけるなど共同で問題に取り組んでいきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート結果は別添ファイルのとおりです。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
	アンケートの結果を踏まえ、来年度以降の開催内容について検討する必要がある。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	情報セキュリティ組織体制の確立し、安全に行政運営を行うとともに、情報ツールを活用することにより、効率的な行政運営に努める。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

**なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

